

『第9回全国高校生環境スピーチコンテスト』 記入例

(A4 縦型、横書き 30 字×25 行、11 ポイント、1,200 字以内)

テーマ：○○○○○○○○○○○○	
氏名：○○ ○○	
学校名：○○県立○○高等学校	学年：○年
<p>千葉商科大学では、学長が掲げる基本戦略の下、教育及び研究・社会貢献を推進しています。教育では「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す「治道家」を育成するため、高い倫理観や専門的な知識・技能、幅広い教養を身につける実学を通した学びを実践していくこと、研究・社会貢献では、地域を志向した持続可能な社会づくりへ全学で対応します。</p> <p>本学は、この「持続可能な社会づくり」をめざす学長プロジェクトを起点とし、幅広く SDGs の目標をカバーし、社会に貢献するため教育研究地域貢献活動を推進しています。プロジェクトは 4 チームに分かれ、学部の垣根を超えた多様な専門分野の教員や学生達が協働して各種取り組み・研究を行っています。</p> <p>プロジェクト 1「会計学の新たな展開」では、情報ネットワーク社会に対応すると共に、会計学の社会的役割である意思決定過程の厳正な明確化と透明性を確保し、企業経営と事業活動の説明責任を果たすことを可能とする対策を探求・情報発信していきます。</p> <p>プロジェクト 2 は「CSR 研究と普及啓発」です。CSR とはビジネス倫理や政策倫理に基づいて企業の行動様式を環境や社会へ配慮したものに変えていくことです。本プロジェクトでは SR(大学の場合は USR)について考え、ESG 投資や商業道徳(倫理・エシカル)教育など幅広く取り組みます。</p>	

プロジェクト3「安全・安心な都市・地域づくり」では、市川市国府台地区を市川・江戸川地域の防災拠点のひとつとするだけでなく、近隣の教育機関や病院・行政と連携し、相互協力した地域づくりをめざします。そのため、学生や地域住民の防災能力を向上させる教育に注力していきます。また、地域資源を活かすまちづくりや安全な地域交通システムの形成などにも多様な主体と連携し取り組みます。

プロジェクト4「環境・エネルギー」では、大学所有のメガソーラー発電所などの発電量と大学のエネルギー使用量を同量にする「自然エネルギー100%大学」への取り組みを進めると共に、本学が持続可能な地域分散型エネルギー社会の核となるよう活動していきます。

千葉商科大学では、2017年に「日本初の自然エネルギー100%大学」をめざすことを表明し、2019年には「自然エネルギー100%大学（RE100）」を達成しました。これを踏まえ、本年6月7日には本学が全国の大学へ働きかけ「自然エネルギー大学リーグ」を設立しました。同リーグでは自然エネルギーの活用等を通じて大学活動に伴う環境負荷を抑制し、脱炭素化をめざします。

自然エネルギー100%大学として、これからの日本社会を担う高校生の皆さんに地球温暖化対策やエネルギー問題などの重要な社会課題について、どのようにしたら持続可能な社会を築いていけるのか、自分自身の考えを発表してもらおう場としてスピーチコンテストを開催します。

(1,196文字)